

令和元年度 租税教育実践発表会

石巻地区租税教育推進協議会

次 第

1 開 会

2 開会挨拶 石巻地区租税教育推進協議会会長
(東松島市教育委員会教育長)

3 実践者紹介 (発表者)

石巻市立蛇田小学校 教諭 久 道 弥

石巻市立渡波中学校 教諭 遠 藤 雅 也

東松島市立矢本第二中学校 教諭 松 川 宏

(資料提出者)

石巻市立須江小学校 教諭 菅 野 真太郎

石巻市立中里小学校 教諭 若 生 仁 美

石巻市立和渕小学校 教諭 佐 藤 哲 平

石巻市立河北中学校 教諭 平 山 隆 之

4 実践発表

5 質 疑

6 閉会挨拶 石巻地区租税教育推進協議会副会長
(石巻税務署長)

7 閉 会

実践発表会資料

石巻市立蛇田小学校			
教諭	久道	弥	・・・・・・・・ 1
石巻市立渡波中学校			
教諭	遠藤	雅也	・・・・・・・・ 8
東松島市立矢本第二中学校			
教諭	松川	宏	・・・・・・・・ 13
石巻市立須江小学校			
教諭	菅野	真太郎	・・・・・・・・ 19
石巻市立中里小学校			
教諭	若生	仁美	・・・・・・・・ 25
石巻市立和浏小学校			
教諭	佐藤	哲平	・・・・・・・・ 31
石巻市立河北中学校			
教諭	平山	隆之	・・・・・・・・ 37

令和元年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立蛇田小学校

教諭 久道 弥

1 はじめに

私たちは、法律の定めるところにより、国や地方公共団体に「税」を納めており、すべての国民がその義務を負う。私たちの生活を支える施設やサービスは、この税金によって支えられている。しかしながら、身の回りには税金によって成り立っている施設やサービスがありながら、児童はそれが税金で賄われていることを十分に理解しておらず、自らの生活と関連させて捉えることはできていない。また、現在、私たちは消費税や所得税、住民税など多くの形で税を納めているが、実際にどのように運用されているかということについては、見えにくい面もある。

今回の租税教育を通して、自らの生活を税金の関りについて関心をもたせ、児童には国民生活を支える一員であるということを理解させていきたい。

2 児童の実態（第5学年児童 男子90名 女子77名 計167名） 令和元年8月29日実施

課題に真面目に取り組もうとする児童が多い。反面、自ら様々な役割に挑戦したり、新しいアイデアを生み出したりすることを苦手と感じている児童も少なくない。今回、租税教育を行うにあたり、税金について以下の内容でアンケート調査を実施した。（回答数 162名、無回答 可）

	質問事項	回答
質問1	税金という言葉を知っていますか。	・ある（144名） ・ない（18名）
質問2	税金と聞いて、イメージすることはどんなことですか。	・お金（48名）・給料から引かれるもの（9名） ・高い（38名）・品物の値段が上がる（5名） ・増税（18名）
質問3	「〇〇税」のように、知っている税を書いてください。	・消費税（67名）・増税（14名）・自動車税（7名） ・所得税（4名）・脱税（2名）・税込み（1名）
質問4	税金はどこに集められていると思いますか。	・国（35名）・役所（6名）・警察署（5名） ・貧しい国（4名）・政府（4名）・国会（3名） ・県庁（3名）・銀行（3名）・募金団体（2名） ・大臣（1名）・財務省（1名）
質問5	税金は何に使われていると思いますか。	・国民の生活（20名）・道路工事（13名） ・建物の建設（11名）・高齢者や障害のある人の生活費（8名） ・公園の水道（4名）・教科書（3名） ・公務員の給料（2名）・薬の開発（1名）・医療費（1名） ・予防接種（1名）・オリンピック（1名） ・選挙費用（1名）
質問6	税金は必要なものだと思いますか。	・必要（122名） ・不必要（28名） ・無回答（12名）
質問7	質問6についての理由は何ですか。	（必要と答えた児童の理由） ・震災の支援に生かされるから ・公園や交番でもお金を取られることになるから

		<ul style="list-style-type: none"> ・救急や警察なども有料になるから ・全て自己負担になるから <p>(不必要と答えた児童の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を多く取られるから ・金額が少ないから ・戦争のために使われることになるならいい ・無意味に使われるから ・分からないから
質問 8	税金について知りたいことを書いてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ税金があるのかを知りたい。 ・どこに集められるのかを知りたい。 ・何に使われているのかを具体的に知りたい。 ・自分たちがいくら払っているのかを知りたい。 ・なぜ値上げ（増税）が必要なのかを知りたい。

以上の結果から、児童の多くは「税金」という言葉は聞いたことがあるが、税金を納めることの目的、どのように生かされているかなどについては十分に理解できていない。また、税金の使われ方などを十分に理解できていないことから、税金は「高い」や「商品の値段が上がる」など、マイナスのイメージをもつ児童が多い。しかし、今回のアンケートを通して、児童は自分が税金について分からないことが多いということに改めて気づき、活用のされ方も知らずに納めるのではなく、「税金についてよく知りたい」という意欲があることが分かった。児童の問題意識の高まりを生かしながら、税金についての正しい理解につながるようにしていきたい。

3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、次の3点に留意して学習を進めていく。

- ① アンケート結果を児童に示し、税金に対する現在の認識を共有できるようにする。5年生の現段階では、分からないことが多いということを改めて確認し、問題意識をもって学習に臨めるようにする。
- ② 「消費税」などを例に挙げ、自らも納税者の一員であるということを自覚させ、税金の活用のされ方について興味をもって学べるようにする。
- ③ 税金についての正しい知識が得られるよう、具体例を明示し、より実感のある学習となるようにする。

4 指導計画（1時間扱い）

時間	学習内容
事前指導	「税に関するアンケート調査」実施
1 租税教室	「実践授業」 私たちの生活と税金 石巻法人会青年部 加納 茂信 様 ほか5名
事後の活動	税に関する標語づくり

5 実践内容

【租税教室：私たちの生活と税金】



(1) 目標

税の種類や税金の使われ方を知り、自らの生活に税金が密接にかかわっていることを理解する。

(2) 実施期日

令和元年9月4日（水）3校時

(3) 実践の様子

段階	学習活動	学習の様子・主な児童の反応
導入	<p>1 税に関するアンケートの結果を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はなぜ必要なのだろう。 ・どこに納めているのだろうか。 ・どんなことに使われているのだろうか。 <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">税金について知ろう。</div> <p>3 ゲストティーチャーの紹介</p> <p>○法人会の説明 ○自己紹介</p>	 <p>○法人会についての説明を聞く。</p>
展開	<p>4 税金について知る。</p> <p>(1) 税金と私たちの生活</p> <p>○税金は私たちの生活に生かされているものであることを知らせ、興味を高める。</p> <p>(2) 税金の種類と納付先</p> <p>○税金の具体的な種類を知り、税の種類によって納付先が異なることを知る。</p> <p>○「消費税」などを例に、小学生を含む小さい子どもであっても納税者であることを理解する。</p> <p>(3) 税金の使われ方</p> <p>○図から、税金が使われているものを考える。</p> <p>○税金が具体的にどのように活用されているかを知る。</p> <p>○石巻市の例を参考に、納められた税金がどのように予算化され、運用されているかについて資料をもとに知る。</p>	 <p>○色分けされた資料を見て、納付先について理解する。</p> <p>赤色：国 黄色：県 青色：市町村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税の種類ってこんなにたくさんあるんだ。 ・種類によって、納める先が違うのか。 ・国や県、市町村によって使い方も違うのかな。

	<p>5 DVDを視聴し、税金の必要性について考える。 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 ○税金がない社会の様子を具体的に理解し、その必要性を実感する。</p> <p>6 1億円のレプリカをもつ。 ○1億円のレプリカを見たり、実際に持ったりして みることで、国民から集められたお金を有効に使 ってほしいという気持ちを高める。</p>	 <p>○税金がない世の中の問題点を考える。 ・税金がなくなると、困ることがたくさんあるんだ。 ・身の回りには、税金で作られたものがいっぱいあるんだ。</p>  <p>○1億円という金額を見たり、持ったりして体感する。 ・重いな。 ・1億円でどんなことができるのかな。</p>
<p>まとめ</p>	<p>7 学習のまとめをする。 ○アンケート結果を改めて確認し、学習したことを振り返る。 ○税金の必要性に気付き、納税者の一員であることを再確認する。</p>	<p>・税金は私たちの生活のために必要なものだ分かった。 ・税金のことについて、もっと詳しく知りたい。</p>

6 事後指導と振り返り

租税教室は5学級合同で行い、その後、学級ごとに学習の振り返りをし、感想をまとめた。多くの児童が、学習を通して税金の必要性に気付くことができたと思われる。

(学習をふり返って 児童の感想)

税は、最初はあるのはちょっとイヤだなと思ったけれど、今日の話を聞いてみると、税って実はとても大切なものなんだと思いました。私も日本国民の一人なので、税を大切にしたいと思いました。

税金は、学校の物やしん災のふ、このためなど身の回りにある物の多くは税金が使われていて税金がないといつも通りのふうの生活ができなくなってしまうので税金は、必要なものなんだと分かりました。税金は国や県におさめているとも分かりました。

消費税がないと学校のついでもいず全部お金をはらわなければならぬ。消費税がないと大変だかなと思いました。おじいちゃんやおばあちゃんもはらかなければならぬので消費税はあつた方がいいと思います。

税金のことが学習できてよかったです。信号など身近なものも税金で重かっていると知ってすごいなと思いました。税金の使い道は国会で決められているのはびっくりしました。もっと色々なことを知りたいと思いました。

税金はとても大切で、必要なものだと思います。税金はいろいろな種類があり、税金は国会で使いみちを決めていると分かりました。

税金はあつた必要ないと思ってたけど税金がないと、なんでもお金がかかるから税金はとても大切なものだということが分かりました。

(税に関する標語)

- ・税金は みんなの暮らし 支えてる
- ・税金は 幸せつなぐ バトンだよ
- ・税金で 笑顔が増える 町づくり
- ・税金で 公共施設 管理する
- ・税金で みんなの笑顔 増やそうよ
- ・税金も たくさん積もれば 宝になる
- ・税金は 国民みんなの 幸せだ
- ・工事中 これも税金 使ってる

7 成果 (○) と課題 (●)

- 税に関する関心が高まり、自分たちの身の回りには税金で賄われているものが多くあることに気付かせることができた。
- 税金のない社会について、DVD視聴を通して具体的に考えさせた結果、税金の必要性を理解させることができた。
- 本校では、毎年6年生が実施している租税教室を5年生で実施した。やや難しい内容ではあったが、法人会の方に分かりやすく説明をしていただき、税に関する関心を高めることができた。
- 今年度の租税教室に関する記録を残し、確実に引き継ぐことによって、社会科の学習に生かしたり、次年度の租税教室では発展的な内容を学んだりするなど、今回の学習の成果を生かしていきたい。

8 実践を振り返って

6年生の後半に学習する「税金」に関する内容を、今回は租税教室を通して5年生で学習した。実施に当たり、「増税」や「公共工事」を例に挙げ、具体的に税金について考えさせながら事前にアンケート調査を行ったが、やはり税に関する知識はほとんどなく、関心も低いことが分かった。しかし、アンケートを進めていく中で、児童は自らが税に関する知識がないまま納税をしているということに気づき始め、租税教室への学習意欲が高まっていったと感じた。租税教室では、学級担任ではなかなか用意できない資料を使って、児童の興味関心を高めながら進めていただいたことにより、アンケートの中で挙げていた疑問については、ほとんど解決できた。また、税に関する正しい知識を身に付けるだけでなく、今回の学習を通しての一番の成果は、税に関する関心が高まったことだと感じている。税に関して考えるきっかけとなり、5年生での租税教室はよい学びとなった。

令和元年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立渡波中学校
教諭 遠藤 雅也

1. はじめに

なぜ、「税」が必要なのだろう？

国や都道府県、市町村では、私たちが健康で文化的な生活を送るために、個人ではできない様々な仕事（公共サービス等）をしています。このような「公共サービス」や「公共施設」を提供するためには、多くの費用が必要になります。その費用をみんなで出し合って負担しているのが「税金」です。

(国税庁ホームページ 税の学習コーナーより)

令和元年10月より消費税が10%に引き上げられた。日本は主要先進国の中でも驚くほどのスピードで少子高齢化が進んでおり、これに伴い社会保障費にかかる費用負担が年々増加していることも消費税増税の一因であると考えられる。更に人口減少の一途をたどっていることから、今後の税収については厳しいものになるといえる。私たちの生活を支えている「公共サービス」などは「税金」によって賄われていることを考えると、租税教育の中で「税」について学ぶことが国民にとって重要であると考えられる。

2. 税に関するアンケートの結果から

租税教育を実施するにあたり、税に関するアンケートを実施した。結果は下記のとおりである。

令和元年9月13日実施 回答数男子17名、女子13名、計30名（欠席3名）

- 1 10月から消費税が上がるが、何%になるか？
・10%・・・28名 ・誤答・・・2名
- 2 消費税が上がることについて、あなたはどのように思いますか？
・賛成・・・7名 ・反対・・・19名 ・どちらでもない・・・4名
- 3 消費税以外の税についてどんなものがあるか？（複数回答可）
・所得税・・・8名 ・固定資産税・・・3名 ・たばこ税・・・3名
・自動車税・・・2名 ・酒税・・・2名 ・住民税・・・2名
・県民税・・・2名
- 4 消費税を含むが何に使われているか興味がありますか？
・ある・・・17名 ・ない・・・11名 ・どちらでもない・・・2名

「税」については、消費税が10%になることは知っているが、消費税以外の「税」の種類については、知っている生徒は複数の回答をしたが、それ以外では所得税を数名知っていた程度で、ほとんどの生徒は知らないという回答であった。また、どのように使われているかについてで、興味がある」と答えた生徒は半数程度であり、興味のない生徒やどちらでもない生徒が半数近くあった。消費税に反対している生徒の多くが、消費税などの「税」がどのように使われているかに興味を持っており、「無駄遣いされたくない。」、「政治家がどれぐらいもっているか気になる。」、「学校の備品にどれぐらいかかっているのか知りたい。」といった考えを書く生徒もいた。一方で興味のない生徒に、「大人になったら考える。」、「今は興味ない。」という意見があった。この結果から、自分たちが支払っている消費税についての理解はあるものの、それ以外の「税」についてはよく分かっていない生徒が多く、何に使われているかについてはほとんどの生徒が正確に答えられないことが分かった。

3. 指導にあたって

税の種類を学び、その集め方や使い方を考えさせることで、「税」を納めることが国民にとっていかに大切なものであるかを理解させるとともに、どのように「税」が使われているかについて関心をもたせ、社会参加に対する意識を高めさせていきたい。

そこで、授業では以下の視点に着目して、授業を行う。

視点1 税の種類を学ぶことで、税に対する興味をもたせる。

「私たちの暮らしと税」を活用し、税の種類について興味をもたせる。


視点2 「税」の集め方の異なる2つの国について、グループごとに税率を考え、それをもとに「税」の使い方について考えることで、社会参加への意識を高めさせる。

仮想の国として、所得によって税率が変わる国と、どの所得でも税率が変わらない国に分けて、それぞれの国で集めた税金から、税の使い道について考えさせることで、「税」を納めることの大切さや「税」納めることが社会参加につながることに気付かせたい。

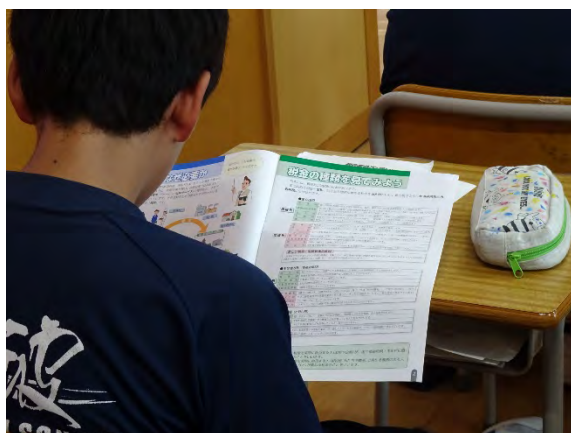
4 授業について

題材名	税の使い方を考える
目標	・「税」の種類を学び、「税」の集め方や使い方を考える【思考・判断】
本時の提案	視点1 「税」の種類を学ぶことで、「税」に対する興味をもたせる。 視点2 税金の集め方の違う2つの国の事例から、税率や税の使い方について考えることで、社会参加への意識を高めさせる。

5 学習過程

段階	学習活動・ 【本時の提案】	形態	指導上の留意点
導入 5分	1 事前にとったアンケート結果を発表 	一斉	・出てきた「税」についての簡単な説明を行い、本日のめあてを確認。
展開 40分	2 学習課題の提示 「税」の集め方や使い方を考えよう 3 私たちの暮らしと税を配布し、税の種類を説明を聞く。 視点1 税の種類を学ぶことで、税に対する興味をもたせる。	一斉	・分かりやすいものは、簡単に説明し、あまり時間をかけないようにする。

展開
40分



4 4人1グループを作り、それぞれをA国、B国に分け、税率をそれぞれ考える。

視点2 税金の集め方の違う2つの国の事例から、税の使い方について考えることで、社会参加への意識を高めさせる。

5 考えた税率をもとに、「税」の使い方についてグループごとに考える。



6 それぞれの国、グループごとに発表する。

終結
5分

7 感想を書く。



グループ
・2つの国を比較させて、どちらかの国に振り分ける。選ばせるのではなく、ランダムに振り分ける。



一斉

6 生徒の感想

- ・税率を決めて、予算を振り分けることが難しく、税金の大切さが分かった。
- ・税を納めることの意味について、改めて知ることができた。
- ・税金を下げるというのは簡単だが、税率を決めて振り分けることが大変だということを知った。
- ・今回、税金がどのように使われるかを考えたことで、税を納めることが大切だと感じた。
- ・国のために、たくさんの税が使われていることを感じた。
- ・税が足りなくなると、国が困るので、税は払わなければならないと思った。
- ・税率や集めた税の使い方を考えるのは楽しかった。
- ・税が多くの人に使われているのが分かったため、消費税が上がるのも良いと思った。
- ・税について真剣に考えなければならない年齢になったと感じた。

7 成果と課題

- 消費税以外の「税」についての理解を深めさせることができた。
- 税率を考えることで、どのように集めると国が必要とする収入になるかについて、話し合うことができた。また、「税」が国を支えていることを理解させることができた。
- 集めた「税」の振り分けを考えたことで、どのように使うことが国民のためになるか話し合うことができた。また、それぞれの発表から様々な意見を共有できた。
- 生徒の感想から、消費税以外の「税」に対する興味・関心をもつことができたことで、納税者として、社会参加への意識が高まった。
- 社会科公民分野ではこの単元の扱いが2学期後半のため、時期的に扱いが難しいと感じた。
- 税率を話し合った時に、どのグループも必要な税収に近い「税」を集めることができたため、国債などを詳しく扱うことができなかった。

令和元年度

租税教育実践発表会資料



東松島市立矢本第二中学校

教諭 松川 宏

1 はじめに

租税は、国家や地方公共団体が国費・公費にあてるため、国民や住民から強制的に徴収する金銭のことである。そして、日本国憲法第30条では、「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。」と納税の義務について規定している。同条は国民に納税の義務を課したもものとして国家による徴税の根拠となっている。

学習指導要領では、「租税の意義と役割」の取扱いとして、「統計資料などを有効に活用しながら租税の大まかな仕組みやその特徴にも触れ、国民生活に大きな影響力をもつ財政を支える租税の意義や税制度の在り方について考えさせる。」としている。また、「国民の納税の義務」については、国民が納税の義務を果たすことの大切さを理解させるとともに、税の負担者として租税の使いみちなどについて理解と関心を深めさせるなど納税者としての自覚を養うことが重要である」と示している。

今回の学習指導では、そうした租税について、その必要性や種類などについて学習し、関心を高めたい。さらに、少子高齢社会における社会保障とその財源の確保の問題をどのように解決していったらよいか、税の負担者として自分の将来と関わらせて考えさせたい。

2 生徒の実態

本学級は、第3学年の男子14名、女子14名、計28名の学級である。男女の仲もよく、班活動もスムーズに行うことができる。今回、租税についての授業を展開するにあたり、その関心・意欲を高めるために、7月に税務署から講師の先生を招き、3学年全生徒を対象に租税教室を実施した。そのことを踏まえた上で事前調査を実施した結果は、次の通りであった。

- | |
|---|
| <p>1 租税教室についてどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none">・税のことがわかった（10人）・税のことがなんとなくわかった（12人）・よくわからなかった（5人） <p>2 税金の種類について知っているものはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・消費税（27人）・関税（5人）・自動車税（2人）・所得税（1人） <p>3 税金は何に使われていると思うか。</p> <ul style="list-style-type: none">・学校や道路などをつくるため（8人）・警察や消防（5人）・国のため（5人）・無回答、わからない（9人） |
|---|

租税教室を通して、税金について基礎的な知識を習得することができた生徒も多く、税金についての関心を高めるきっかけになったと考えられる。しかし、税の種類やその徴収目的については、知識を高める必要があると考える。

3 指導にあたって


間近に迫った消費税増税に対する生徒の関心は高い。その是非を問いかけることで、租税についての理解を深めたいと考える。また、租税の意義を学習することにより、税制度の在り方や、税の負担者としての税の使い道に関心を持たせ、国民生活と福祉の向上を図

るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について考えさせたい。

現在、少子高齢化にともなう社会保障費の増大は、我が国にとって深刻な問題となっている。そのような状況の中、租税はどのように変わっていくのかについても考えさせていきたい。

これらの学習を効率良く進めるために、宮城県租税教育推進協議会の「私たちの暮らしと税」を資料として用いたい。この資料は、本時で学習する事項が大きく掲載されており、生徒の理解を助けるものとする。

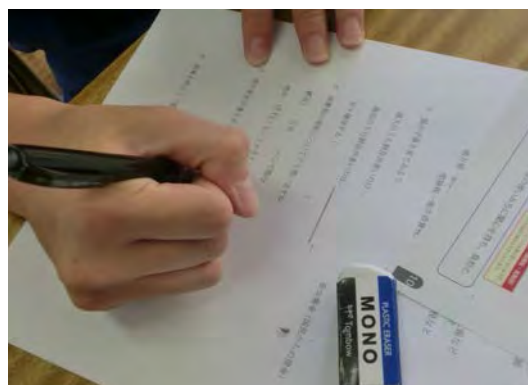
4 指導計画（2時間扱い）

時間	学習内容	主な学習活動
1	租税とは何か （租税教室） 7月9日 石巻税務署より講師を招いて3学年全員で受講	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活の様々な場面で使われている税金  <ul style="list-style-type: none"> ・もしも税金がなかったら（DVD） ・少子高齢化にともなう課題  <ul style="list-style-type: none"> ・1億円の重さを体験 

1 (本時 1 / 1)	租税について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・租税の役割 ・税金の種類と仕組み ・消費税増税の必要性
-----------------	-----------	--

5 学習過程

段階	学習活動	形態	教師の支援及び指導上の留意点
導入 10分	○ 75,000円あったら どうする？	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税増税にともない、家庭では年間75,000円の負担が増すことを知る。
	○ 本時の学習内容を知る	一斉	
消費税増税について考える			
	○ 租税教室の振り返り ・ 税金を徴収する目的		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 1 ・ 資料集 p 118 で「税金がなかったら」ということに触れる。
展開 35分	① 主な税金	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 2 ・ 累進課税について触れる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">② 消費税増税に賛成か</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えを書く 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理由も含めて考えさせる。 ・ 「暮らしと税」 p 5, p 9 を活用させたい。
	・ グループで話し合う	班	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割分担を事前に指示しておく。



	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班ごとの意見発表 	班	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の班の意見を聞き、メモをとらせながら考えを深めさせたい。 
	③日本の財政	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 5 ・ 公債について補説する。
	④少子高齢化と社会保障費	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 9 ・ グラフから増大する社会保障費に気付かせたい。
終結 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○消費増税の目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使い道は社会保障費 ・ 毎年 5,000 億円増加する社会保障費 ○世界の消費税 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 10

6 学習を終えて（生徒の感想）

- ・ 税金について、いろいろと考えるいい機会になりました。これから消費税が10%になり、最初の方は混乱すると思いますが、仕組みを知って早く慣れていきたいです。
- ・ 税金は、私たちの暮らしの中で、生活しやすいように使われていることが分かった。また、税金の増税についていろいろな意見があり、おもしろかった。
- ・ 税金のことについて考えるのは難しいと思ったけど、やっぱり自分の買い物の負担が増えるのは嫌だと思いました。でも、今回の増税も社会保障のためなので、今のおじいちゃん、おばあちゃんにも長生きしてほしいから、増税は仕方がないと思います。
- ・ 消費税の増税について、どうでもいいかなと思ってたけど、真剣に考えてみると、疑問や「いいな」と思うところとかもあって、もっと国のやることに興味を持ってみようかなと思いました。
- ・ 自分の国の税金なのにどんな税金の種類があるのか分からなかったけど、今回の授業で少しでも知ることができてよかったです。

消費税増税について考える

氏名： _____

1 税金はなぜ必要か

国・地方公共団体（都道府県・市町村） → (_____) (_____)
教育施設・道路 ゴミ収集・警察

2 税金の種類

() 税… () 税… (_____) 税，法人税など

() 税… () 税，関税など

地方税…直接税…県民税，自動車税など

間接税…地方消費税，入湯税など

3 国の予算を見てみよう

歳入のうち割合が多いのは…

※公債金（国民からの借金）

歳出のうち割合が多いのは… _____ ←

年々増加する ()

4 消費税の増税についてどう思いますか

賛成 反対 ←○で囲む

理由…

5 班の意見を書きましょう

6 他の班の意見

7 授業を終えて（感想）

令和元年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立須江小学校

教諭 菅野 真太郎

1 はじめに

私たちが健康で文化的な生活を送るために必要な公共施設や公共のサービスには税金が必要不可欠なものである。児童たちが住む石巻市の震災復興や、児童たちの身近にある学校、公園などの維持も税金がなくては成り立たないものであるが、児童たちは税と密接な関係にあることに気付いていない。

今回の学習を通して、自分たちの暮らしと税金の関わりについて関心をもち、税の大切さ、必要性について考えていけるようにしたい。

2 児童の実態

今回の租税教室は6年生、男子25名、女子26名の計51名が参加した。事前に「税」についてのアンケートを行った。

「税についてどのような種類の税があると思いますか。」の問いに対しては、「消費税」と答えた児童が多く、「所得税」や「自動車税」など「消費税」以外のものを答えた児童は数名であった。また、普段の買い物の体験より「税込み」「税抜き」と答えた児童もいたが、「分からない」「知らない」と答えた児童が半数以上であった。

「集められた税は、どこに納められていると思いますか」の問いに対しては、ほとんどが「分からない」と答えている。

「税金は何に使われていると思いますか。」の問いに対しては、「お金に困っている人のため」「年金」「公務員の給料」と回答したのが数名であり、ほとんどが「分からない」と答えている。

「税金は必要だと思いますか。」の問いに対しては、「必要である」と答えた児童は数名であり、ほとんどが「必要ない」と答えている。理由としては、「お金が多くとられるから」「どんどん高くなっていくから」が多かった。

以上のことから、児童は税に対しての関心が低く、ほとんどの児童が「消費税」以外の税を知らないことが分かる。また、税がどこに納められているのか、税が何に使われているのかについても同様で、ほとんどの児童は認識がないと考えられる。税に関しての必要性については、漠然と「必要である」と考えている児童が数名いるが、ほとんどの児童が自分たちの負担が増えるために払いたくない。払う必要がないと考えていることが分かった。

3 指導に当たって

児童の実態から、以下のことに留意して学習を進めていきたい。

- 税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする。
- 税が大切な役割を果たしていることを考えられるようにする。

4 社会科との関連

(1) 日本の歴史

○天皇中心の国づくり

- ・律令，租・庸・調

○3人の武将と天下統一

- ・太閤検地

○江戸時代と政治の安定

- ・年貢，百姓一揆

○明治の国づくりを進めた人々

- ・地租改正

(2) わたしたちの生活と政治

○子育て支援の願いを実現する政治

- ・税金の働き

○震災復興の願いを実現する政治

- ・補正予算

5 指導計画（2時間扱い）

時間	学習内容
時間外	「税に関するアンケート」 ・アンケートに記入する。
1	「租税教室」 ・外部講師による租税教室を通して，税が自分たちの生活に密接に関わっていることや，税の必要性についてまとめる。
2	「税について理解を深めよう」 ・租税教室で学習した内容の確認を行い，自分たちの生活と関連させながら税と自分たちの生活が密接に関わっていることを理解する。

6 実践内容【租税教室】


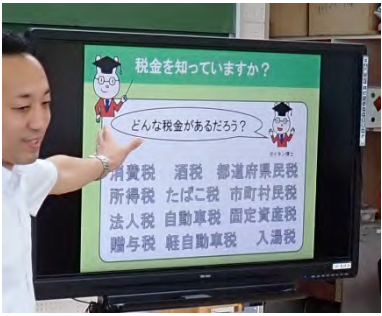

(1) 目標





自分たちの生活と税が密接に関わっていることを知り，税の必要性について理解する。

(2) 実施期日：令和元年9月13日（金）

(3) 対象：石巻市立須江小学校 第6学年 男子26名 女子25名 計51名

(4) 本時の展開

	学習活動と児童の反応	学習の様子
導入	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="395 432 855 551" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分たちの生活と税金の関わりを考えよう。</p> </div> <p>2 外部講師の紹介 ○法人会の説明</p>	
本時	<p>3 外部講師の説明を聞き、税金について考える。</p> <p>○「税金」のイメージを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまりいいイメージがない。 ・お金を払うのは嫌だな。 <p>○税金の種類について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50種類以上あるんだ。 ・消費税だけではないんだ。 <p>○税金はどこに納められるのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国，都道府県，市町村といろいろあるんだ。 <p>○何歳から税金を払うのか知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳から払うと思う。 ・18歳からじゃないかな？ ・生まれた時から払わないといけないのではないか？ <p>○税金は何に使われるのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号機や道路も税金が使われているんだ。 ・学校や教科書にも税金が使われているんだ。 	 

	<p>○一人一人にどのくらいの額の税金が使われているかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では80万円以上も使われている。 ・自分で払うのは大変だなあ。 <p>4 DVDを視聴し、税の必要性を考える。</p> <p>○「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴し、税金がなくなってしまうと、どのように困るのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金がないと生活しにくくなるなあ。 ・道路も自由に通れなくなるんだ。 ・公園がなくなると困るなあ。 <p>○税金の使い道について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石巻は復興に多く使われているんだ。 <p>○税金を何に使うべきか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校にエアコンをつけてほしい。 ・バリアフリーに使うべきだ。 ・震災復興のために使ってほしい。 <p>○国民の三大義務を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金は払わないといけないんだ。 ・税金は必要だ。 <p>○1億円の重さを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに重たいんだ。 ・大切に使わないといけないね。 	   
ま と め	<p>5 学習のまとめをし、振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はみんなのためになるんだ。 ・税金はなくてはならないものだと思った。 	

7 租税教室実施後の振り返りから

税金は、人からお金をとってしまうから悪いと思っていたけど、税金のおかげで、わたしたちが生活できているんだと思いました。

税金はとても大事な物だとわかりました。税金が増えると公共の場の物などの「かんりぐ」で、そなえがなくなってしまったりするから、税金はしっかりおさめようと思いました。

ふりかえり

税金は、とても大切なものだということがわかりました。今まで、あまり大切だとは思っていませんでしたが、私たちが生活している上で税金は、なくてはならないということがわかりました。

ふりかえり

講師の先生がとても分かりやすくおしえてくれたのでよかったです。税金がなければ、大変なことになるので、とてもびっくりしました。これからは税を大切にしたいです。

ふりかえり

今まで、税は、いらないと思っていたけど、税金がなくなると、学校や病院も、税でまかなわれているから、大変なことになることが分かった。

ふりかえり

今日の授業で、税金がないと生活が、とても大変になるということが分かりました。税金は、とても大切だということも、分かりました。

8 まとめ

税に対して知識のない児童が多かったが、今回の租税教室を通して、税金が何に使われているのか、税金がなくなるとどのようなことが起こるのかを理解することができ、税金と自分たちの生活の関わりに気付くことができた。また、税金は不必要なものと考えている児童が多かったが、税金はみんなの生活を支える大切なものであるという意識をもつことができた。

将来、児童が税金はなぜ必要なのかを理解して納税していけるように、今後も機会を見つけ、継続的に指導していきたい。

最後に、児童と共に分かりやすく税金の仕組みを教えていただける貴重な学習の機会をいただけたことに感謝したい。



令和元年度 租税教育実践発表会資料



石巻市立中里小学校
教諭 若生 仁美

1 はじめに

私たちは、警察、消防、教育、社会保障など、様々な公共施設・公共設備、公共サービスの恩恵を受けて暮らしている。これらは全て、税金によって賄われており、社会を支えるために国民が負担し合っているものである。しかし、我が国の厳しい財政状況や少子・高齢化は、今後の税制に大きな影響を及ぼすことが懸念され、課題となっている。

そこで、将来を担う子どもたちが、税金の意義や役割、必要性などを考える機会をもつことは極めて重要なことであり、ひいては租税教育のねらいでもある健全な納税者意識（租税は民主国家の礎であり、この租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を支払い、その使い道を監視する、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考えるという自覚）を涵養することが大切であると考えた。

6年生では、社会科で税金について学習するが、そこでは政治の働きと税金の使われ方について調べ、租税の役割についてそれぞれ理解できるようにすることがねらいである。今回、それに先立ち、まず税金について正しい理解と認識を深めさせたいと考えた。

2 児童の実態

本学級の在籍児童は、男子8名、女子12名、計20名である。明るく素直な児童が多く、男女仲良く協力し合いながら生活している。

児童に、「税金」に関する事前アンケート調査を実施した。結果は、以下の通りである。

(1) 事前アンケート(令和元年6月10日実施、対象：石巻市立中里小学校 6年1組20名)

1 「税金」という言葉を聞いたことがありますか？

ある・・・19人 ない・・・1人

2 1の質問で、「ある」と答えた人へ質問です。「税金」の意味を知っていますか？

知っている・・・9人 知らない・・・10人

3 2の質問で「知っている」と答えた人へ質問です。税金は何に(どんなことに)使われていますか？具体的に書きましょう。

国でつくったものに使われる 国道や県道などの道や公立の学校などの建設費
給料から国に納めるお金のこと 自分たちの地域のために使われている
学校の水道2人 学校で使う教科書2人 定価の値段にプラス何円か入ること2人

4 税金について疑問に思うことや分からないこと、聞いてみたいことがあったら書きましょう。

税金は、どういうお金ですか？ 税金は、何に使われていますか？
なぜ税金はあるんですか？全国で税金を集めると何千万円になるのか教えてください？ 税金で、何をしていますか？ 税金は、いくらぐらいあるんですか？
税金はなぜ払わないといけないのですか？ 消費税以外に何がありますか？
税金は、何円払わなければいけませんか？

(2) 考察

- ・「税金」という言葉は、ほとんどの児童が聞いたことがあると答えた。テレビやニュースなど日常生活で聞いたことがあると考えられる。
- ・税金がどのような役割をもち、どのように使われているのかについて「知らない」と答えた児童が10名いた。税金についての基礎的な知識については認知度が低いことが分かった。
- ・知っている税金については、地域のためや国でつくったもの、学校で使われている物等に使われているが挙げられた。しかし、公共サービスなど暮らしそのものに税金が使われていることなど、その役割や内容を知っているわけではないことがうかがえた。

3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、以下の点を工夫して指導していくこととした。

まず、税金について疑問に思うことや分からないことを解決するために、税に関する専門家（外部講師）を招き「租税教室」を開催し、税金について理解する。

次に「租税教室」で学んだことを生かし、実際に自分たちのために使われている税金について考える。

最後に、学習のまとめとして「わたしたちの暮らしと税金」を活用して学習内容の確実な定着を図る。

4 指導の実際

○単元名 「わたしたちの生活と政治」

○単元のねらい

- ・税金の役割や用途について興味・関心をもつ。
- ・税金はわたしたちの生活にとって不可欠なものであることを理解する。

(1) 指導計画（3時間扱い）

小単元名	時間	主な学習活動	関連単元
事前アンケート実施	短学活	○税金についての認識度の確認	
1 税金ってなんだ 気付く	1	○「租税教室」で、税金は私たちの生活に欠かせないもので、身近なことに使われていることに気付き、税金について理解する。	社会 「わたしたちの生活と政治」
2 税金が使われている物を考えよう 考える	1	○身近な公共施設・公共設備、公共サービスについて考え、それらは税金によって賄われていることを理解する。	社会 「わたしたちの生活と政治」
3 税金について振り返る 深める	1	○「わたしたちの暮らしと税金」を活用して学習内容の確実な定着を図る。	社会 「わたしたちの生活と政治」

(2) 実践内容と児童の様子

気付く	1 税金ってなんだ（1/3）「租税教室」 令和元年6月17日実施
講師：公益社団法人石巻法人会青年部会 副部長 高橋政則様 他2名 学習のねらい：税金の必要性和意義、仕組みについて理解する。	
主な学習活動	主な発問・説明（○） 児童の反応（・）
1 税金の種類について知る。	○税金には、どんな種類があるか知っていますか。 ・50種類もあるんだ。
2 税金がどうやって納められているかを知る。	○税金は誰がどこに納めているか分かりますか。 ・税務署に納められて、国のお金となるんだ。 ・また自分たちに戻ってくるんだ。
3 税が何に使われているのかを知る。	○税がどのように役立っているか知っていますか？ ・学校で使っている教科書や机、校舎に使われている。 ・警察や消防署、救急車に使われている。
4 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴する。	

「租税教室」を実施し、法人会の方からお話を伺いながら、税金についての学習を行った。税金は誰が納め、どのように集められるかということについて理解が深まった。また、小学生一人あたり年間約86万円かかるという話や、1億円の重さを体験させてもらうことによって、税金に対する興味・関心が一層高まった。児童の質問にも直接答えていただくことができ、有意義な活動となった。

考える

2 税金が使われている物を考えよう (2/3)

学習のねらい：身近な公共施設・公共設備、公共サービスについて考え、それらは税金によって賄われていることを理解する。

主な学習活動	主な発問・説明 (○) 児童の反応 (・)
1 学校の中にある税金で買っているものについて考え、話し合う。	○学校の中で、税金で買っているものにはどんなものがあるか考えてみよう。 ・教科書 ・黒板 ・掃除道具 ・机や椅子
2 学校探検をする。	○税金で買われているものとそうでないものを探して学校探検をしよう。 ・ほとんどの物が税金で買われた物だ。 ・寄付や寄贈の物は税金で買った物ではない。 ・先生方の私物は税金で買った物ではない。

学校は税金で建てられていることが分かったので、校舎内外の物にも税金が使われていることを知らせると、次々と児童は考えられる物を挙げていた。はじめにクイズでおおまかなものを確認した後、税金で買った物を探す学校探検を行った。税金で買った物を探す児童、どちらか不明な物を探す児童など、それぞれが自分の興味・関心にしたがって楽しみながら活動することができた。不明なものに関しては、みんなで意見を交換しながら考えることができた。

深める

3 税金について振り返る (3/3)

学習のねらい：税金について学んだことを整理し、仕組みや意義について振り返る。

主な学習活動	主な発問・説明 (○) 児童の反応 (・)
1 税金クイズに挑戦する。	○「わたしたちのくらしと税金」の税金クイズに挑戦する。 ・簡単。分かるよ。 ・どうだったかな。
2 税金で何だろう？	○税金について知っていることをワークシートに書いてみましょう。 ・税金がないと困る。 ・税金は、みんなのために使われている。
3 税金が何に使われているか探してみよう。	○消費税の仕組みや税金の使われ方についてクイズに挑戦する。 ・税金が使われている場所がたくさんあるな。
4 国や宮城県の予算を見てみよう。	○国や宮城県の税金の予算を見て、感想を発表しましょう。 ・すごい金額の予算だな。 ・身近なことに使ってほしいな。
5 学習のまとめ。	○学習を終えた感想をワークシートに書く。

「わたしたちのくらしと税金」は、税金についての○×クイズやキーワードとなる言葉を穴埋めする欄があり、児童が楽しみながら税を学ぶことができる資料であった。学習のまとめとして活用できた。

5 事後アンケート

(令和元年6月17日「租税教室後」実施, 対象: 石巻市立中里小学校 6年1組20名)

1 税金は必要だと思いますか?

はい・・・20人 いいえ・・・0人 分からない・・・0人

2 今日の授業はどうでしたか?

よく分かった・・・18人 少し分かった・・・2人

3 税金を何に使ってほしいですか?

国や県や市などみんなの役立つ物に使ってほしい(8名)。球場やスポーツをするための施設を建てるために使ってほしい(3名)。学校や公園に使ってほしい(3名)。お年寄りのための介護や老人ホーム(2名)。年金に使ってほしい。捨てられた犬や猫に使ってほしい。

税金についての学習を終えての感想

学習を終えて

税の学習を通して分かったこと、気づいたこと、考えたことを書いてみましょう。

税金というのは私にとって必要なものだなあと思いました。税金がないとみんながくらしにくくなってしまうということも分かりました。これから10%に税がかかります。その税金で病院を増やしたほうがいいなあと思いました。みんなのためになるものに使ってもらってほしいと思いました。

学習を終えて

税の学習を通して分かったこと、気づいたこと、考えたことを書いてみましょう。

税金は、私たちにとって大切なものだなあと思いました。10月1日から消費税10%にあがったら、年金や教育のために使ってほしいと思います。私たちは、税金があるおかげで、豊かにくらせているんだなあと思いました。

学習を終えて

税の学習を通して分かったこと、気づいたこと、考えたことを書いてみましょう。

今までは、税金があると高くなっていやだと思っていただけ。税金の使い道を知ったら自分たちがはらっている税金が人助けしているんだと思えるようになりました。税金が10%になったらおは"あちゃん達の年金などいろいろなことに使ってほしいです。

6 成果と課題

【成 果】

- 税の専門家を外部講師として招き「租税教室」を開催することは、税に対する関心や知識を高めるのに有効であった。
- 学校探検や一億円の重さ体験などの直接体験、またビデオ教材など視聴覚教材の活用を取り入れたことにより、児童の興味・関心が高まるとともに、税金についての理解が深まった。
- 学習のまとめとして「くらしと税金」を活用しながら税金について再確認していくことで、国や宮城県の予算についても学ぶことができた。
- 令和元年10月から消費税が10%に上がることもあり、これから税金をどのように使っていくてほしいか、児童自身が身近な問題として考える機会になった。

【課 題】

- 税金についての知識は深まったが、政治との関わりや課題に対してどう向き合っていたらよいかという考えまでには至っていないので、今後の学習や生活の中で機会をとらえて指導していく。
- 税金は普段児童には馴染みがないものなので、ともすると学習も受動的になりがちである。児童が主体的に学ぶには、税金について学ぶためのいろいろな切り口を見つけていく必要がある。

令和元年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立和湊小学校
教諭 佐藤 哲平

1 はじめに

税金とは国や地方公共団体が公共サービスや公共施設に必要な費用として、住民や会社などから集める金銭である。税金は、私たちが健康で文化的な生活を送る上で、なくてはならないものである。現在は、所得税や固定資産税など様々な種類の税がある。しかし、子供たちにとって、これらの税は日常の生活で扱うことがなく、実際に納税することもないため、自分たちの生活と税金が密接に関わっていることに気付いている子供は少ないと言える。一方で、平成31年度には消費税率が10%に引き上げられる見込みであることから、消費税については大人だけでなく、子供たちにとっても身近な税と言える。

税に関する学習を通し、自分たちの生活と税金との関わりに関心をもち、税金の役割を理解し、これから生きていく社会（持続可能な社会）について考えることは重要なことと言える。

2 児童の実態

本学級は、男9名、女6名、計15名である。どの学習においても、落ち着いて学習し意欲的に取り組むことができる。社会科においては、歴史の学習への関心が高く、自主学習で歴史上の人物を調べたり、休み時間に歴史に関する本を読んだりする姿が見られる。

公民分野の学習が始まると、「政治は難しい」という印象をもっている子供が多く、学習に対する意欲がやや低下した。

租税教室を実施するに当たり、税金に関する聞き取りをした。税金に対するイメージは「せっかく稼いだお金を取られる。」「消費税は10%になって欲しくない。」「税金は全部なくなって欲しい。」などの意見があった。その多くが否定的な意見であり、税金が自分たちの生活を支えるものという認識がないことが分かった。

3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、指導に当たっては以下のことに留意して学習を進めていきたい。

- 我が国における税の歴史に触れながら学習を進める。
- 租税教室を実施することで、税金と自分たちとの生活が密接に関係していることに気付かせ、税金の大切さ、納税の義務の大切さを理解させる。
- 自分たちの住む石巻市における税金の使途に興味・関心をもたせる。

4 指導計画（2時間扱い）

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準
1	○ 税金の働きについて学習する ・ 社会科の「子育て支援の願いを実現する政治」の単元で「税金の働き（6/7時間）」について、租税教室に関連する内容を事前に学習する。	・ 税の種類や主な使途について、児童の実態把握をしながら学習を進める。租税教室で実施する内容（税金がなかったらどうなるか）については学習しない。	・ 人々の願いを実現するための費用には、住民や会社などから集められた税金が使われていることを理解している。 (知識・理解)

2	<p>○ 租税教室を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (公社) 石巻法人会青年部の方の話を聞き、税金に関する理解を深める。 ・ DVDを視聴し、税金がない場合について考える。 <p>※ ゲストティーチャー (公社) 石巻法人会青年部の方、石巻税務署の方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に学習したことの他に、税金がなかったら自分たちの生活がどう変化し、どういう場面で困るか考えさせる。 ・ 学習のまとめとして、感想を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの生活と税の関わりについて理解している。 (知識・理解)
---	---	---	--

5 社会科との関連

(1) 日本の歴史

○天皇中心の国づくり

- ・ 国を治めるためにどのような法律がつくられ、物の流通があったかについて調べる。
- ・ 国を治めるための法律(律令)ができ、租・庸・調といった税を納めることや、兵役の義務が人々に課されたことについて調べる。
- ・ 都の賑わいを支える地方の人々の生活は、重い税の負担で厳しいものだったことを理解し、人々の生活について調べる。

○3人の武将と天下統一

- ・ 豊臣秀吉は検地により田畑の広さや土地の善しあしを調べ、収入を確かなものにしたことを理解する。
- ・ 検地と刀狩により、身分が区別され、武士が世の中を支配する仕組みができたことについて調べる。

○江戸幕府と政治の安定

- ・ 徳川家光は、幕府の力を強め、確かなものにするために、どのような政治を行ったかを調べる。
- ・ 幕府はどのようにして、身分制度を整えて、百姓や町人を支配し、確実に年貢を取れるようにしたのかを調べる。

○明治の国づくりを進めた人々

- ・ 欧米に学んだ大久保利通らが、どのような国づくりを目指したのかを調べる。





(2) 私たちの生活と政治



○子育て支援の願いを実現する政治

- ・ 子育て支援のための費用は、どこから出るかを調べる。
- ・ 税金の集められ方と使われ方について調べる。
- ・ 税金がなかったらどうなるかを考え、税金の役割について調べる。

- 震災復興の願いを実現する政治
 - ・ 災害復旧に向けた国の取組を調べる。
 - ・ 復興にかかる費用は、国民や企業から集めた税金が使われていることを理解する。
- わたしたちの暮らしと日本国憲法
 - ・ 国民として果たさなければならない義務があることを理解する。

6 実践内容【平成31年1月30日 租税教室】

	○主な学習内容 ・児童の反応	学習の様子
導 入	1 本時の学習課題を知る。 自分たちの生活と税金との関わりを知ろう。 2 ゲストティーチャーの紹介	
展 開	3 (公社)石巻法人会の方の話を聞き、税金について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちが知っている「税」について発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費税 ・ 所得税 ・ 固定資産税 など ○ その他の税について知る。 ○ なぜ税金を支払わなければならないか考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共のサービスのため ・ 復興にかかる費用 ○ 税金の使われ方について知る。 4 DVDを視聴し、税金について理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を見る。 ○ DVDを見て気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防車が来なくて困る。 ・ 病院に行けなくて困る。 ・ 道路が直せなくて困る。 ・ 生活する上で困ることがたくさんある。 	  

ま と め	<p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートに感想を書き，発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・税金のことがよく分かった。 ・税金は大切だと思った。 <p>6 1億円のレプリカを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1億円のレプリカを実際に持ち，重さを実感する。 <ul style="list-style-type: none"> ・重い！ ・意外と小さい。 ・欲しいな。 	 
-------------	--	---

7 成果と課題

(1) 児童の感想

- ・ 「税金は必要ないと思っていたけれど，DVDを見て，税金がないと困ると思った。」
- ・ 「自分たちの生活には税金が必要だということが分かった。」
- ・ 「いろいろな税があることが分かった。」
- ・ 「自分たちが生活するには，たくさんの税金が使われていることが分かった。自分の家では，どれくらい払っているか知りたい。」
- ・ 「前までは，消費税を払いたくないと思っていたけど，やっぱり税は大切だから，子供でも消費税を払わないといけないと思った。」

(2) 成果

- ・ 税金に対して否定的な意見が多かったが，租税教室を実施することによって，税金は自分たちの生活に欠かせないものであり，大切なものであると考える子供が増えた。
- ・ 日本には様々な種類の税があり，いろいろな場面に使われていることが分かり，税の仕組みについて理解することができた。
- ・ 租税教室では，学校の授業だけでは知り得ない，専門的な話を聞くことができ，税金だけでなく，国の政治についても理解を深めることができた。

(3) 課題

- ・ 事前指導では，どの程度指導すべきか十分に打合せをすることができなかった。
- ・ 税について学習したことを，今回だけで終わらせるのではなく，機会を見て指導していく必要がある。

8 おわりに

租税教室を通して、税に対する否定的な印象がなくなり、自分たちの生活にとって大切なものとして認識できるようになった。消費税が10%になることも含め、いろいろな税に対する関心が高まった。また、ゲストティーチャーを招いて授業を行うことで、専門的で正確な知識を得ることができた。将来、社会の中心として働き、納税し、生活していく子供たちにとって、今回の学習は大変有意義なものであった。

令和元年度 租税教育実践発表会資料

石巻市立河北中学校 教諭 平山 隆之

「主権者教育に位置づけた租税教育の実践」

石巻市立河北中学校 教諭 平山 隆之

1 主権者教育としての租税教育の意味

日本の多くの労働者は、源泉徴収方式で納税している。そのため、日本は他国と比べると、税に関する意識が低いと言われている。しかし、税の使い道を考えることは、わが国の将来を考えることと同じである。とりわけ、社会保障制度のあり方は、わが国の財政の問題、そして、生徒たち自身の生活に関わる問題でもある。

18歳選挙権の実現で、主権者教育の充実が求められている。そこで、租税教育も主権者教育の一つとして位置付けたい。主権者教育に位置づけた租税教育では、単に税制度を「教える」授業だけでなく、生徒自身がどのような制度が望ましいのか、どのような使い道が望ましいのかを「考え、議論」する授業に質を転換していく必要がある。本稿では、中学校3年生の社会科教育の一環として行った実践を報告する。

2 生徒の実態

租税教育の授業を実践するにあたって、税に関するアンケート調査を実施した。以下、その結果である。

【税に関するアンケート】（実施日9月3日、対象生徒28人）

問1 あなたが知っている税の種類を書いてください。
消費税（24）、所得税（2）、関税（7）、年金、固定資産税、住民税（2）、国税
問2 税金はどのようなことに使われていると思いますか。
交通整備（3）、老人、米軍、政治、工事、施設を作る（6）、会社の給料、復興支援 自分たちの生活の中で使われている、国が使うお金を国民が出している（10）、 高いイメージ、年金（4）、公務員の給料（2）、借金の返済、社会福祉、学校の用具（2）
問3 税金にどんなイメージを持っていますか。
めんどくさい（2）、8%は数えるのが難しい、あまり良くないイメージ（2）、国（2）、 嫌、大変（2）、負担が大きい、お金を払うイメージ、特になし（3）、 たくさんのお金（2）、国の偉い人が使うイメージ、日本に協力、だんだん上がっている
問4 税金について疑問に思っていること、知りたいことは何ですか。
なぜ税をあげる必要があるのか（6）、なぜ「税金」という名前になったのか 税金がある理由（4）、税金を何に使っているのか（2）なぜ買い物したときに税込みで 払わなければいけないのか、どうやって払う額を決めているのか、どのくらい払うのか （2）、特になし（2）、軽減税率とは何か

問1から生徒たちは自分たちが払う消費税以外の税についてはほとんど知らないことが分かる。問3の税のイメージについては、全体的にマイナスイメージをもっていることが分かる。納税の側面から税を捉えており、税がどのようなものに使われ、どのように人々の生活に役立っているのかという「税の意義」を理解していないためと考えられる。問4の知りたいことでは、税の意義や使い道だけでなく、税制度のあり方についての疑問ももっていることが分かる。

3 指導にあたって

- (1) 税の種類や制度を指導するにあたっては、身近な事例を扱ったクイズを用いて楽しい授業を行う。
- (2) 税の使い道を指導する際は、「私たちの暮らしと税」のパンフレット等を活用し、身近な生活や震災復興支援にも多く使われていることを理解させる。その上で「税金がなかったら私たちの生活はどうなるのか」を考えさせ、税の意義を理解させたい。
- (3) 主権者教育では、国家・社会の形成者としての意識をもち、自身が課題を多面的・多角的に考え、自分なりの考えを作っていく力を育むことが重要となっている。また、根拠をもって自分の考えを主張し説得する力を身に付けていくことも求められる。主権者教育の一環として、「所得税の望ましいあり方は何か」、「消費税増税に反対か賛成か」などの課題を設定し、討論する学習を取り入れる。

4 指導計画

時間	学習内容	主な学習活動	指導資料
1	私たちの生活と財政	<ul style="list-style-type: none"> ・税の種類や制度を理解する。 ・所得税について望ましい制度のあり方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・「私たちの暮らしと税」パンフレット
2	政府の役割と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・税がどのようなものに使われているか調べる。 ・日本の公債残高の状況を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・国税庁HP「国税庁の税の学習コーナー」 ・財部誠一HP「借金時計」
3	社会保障のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会保障制度を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書
4	少子高齢化と財政	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会保障制度の課題を理解する。 ・消費税の増税について、賛成か反対か議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「私たちの暮らしと税」パンフレット ・資料集

5 実践

(1) 1時間目：「私たちの生活と財政」

①税金クイズを行い、税の種類や制度を理解させる。

【税金クイズ】

- ・宝くじで得た賞金には、税がかからない。○か×か。
- ・クイズ番組の賞金には税がかからない。○か×か。
- ・天皇は「国民」ではなく、「国民の象徴」なので税金は払わない。○か×か。
- ・高校生のアルバイトには、税はかからない。○か×か。
- ・父が交通事故で重傷を負った。損害賠償金1000万には税がかからない。○か×か。
- ・下の文章の中で先生は何種類の税金を払ったか。

【先生は、今月もらった給料で、新しい自動車を買って、温泉旅行に行くことにしました。途中で、ガソリンを入れ、ビールとつまみを買いました。泊まったホテルでは、テニスやゴルフを楽しみました。】

②所得税について、A～C、どちらの制度が望ましいか考え、班でミニ討論をする。

A：所得に応じて、税率を決める。

B：どの人も同じ税率にする。

C：その他の方法

(2) 2時間目：政府の役割と課題

①税金がどのようなことに使われているか、「私たちと暮らしと税」のパンフレットの税金クイズを行う。

②パンフレットや国税庁「税の学習コーナー」のホームページを使って税金の使い道について調べさせる。「税がなくなったら、暮らしはどう変わるか」、自分の言葉でまとめさせる。

③「借金時計」のホームページを活用して、日本の国債残高の状況を理解させる。

(3) 3時間目：社会保障のしくみ

①日本の社会保障制度について理解させる。

②北欧の高負担・高福祉型やアメリカの低負担・低福祉型の社会保障制度をクイズ形式で理解させる。

【クイズ（一部のみ掲載）】

- ・フィンランドでは教科書は無料でもらえる。
- ・フィンランドでは、高校まで授業料は無料である。
- ・フィンランドでは、消費税は5%である。
- ・フィンランドのお隣スウェーデンでは、18歳以下の医療費は無料である。

(4) 4時間目：少子高齢化と財政

- ①日本の社会保障制度の課題について理解させる。
- ②「消費税」を上げるべきか？上げない方がよいか？根拠となる資料を探し、自分の考えを書く。

【主な生徒の考え】

消費税の増税に賛成	反対
<ul style="list-style-type: none">○日本の国債残高は 800 兆円越え！返さなければ、次世代に負担を残すことになる。○他の国と比べると消費税率は低い。○食料品など生活必需品以外の消費税を上げる。（軽減税率の考え方）○少子高齢社会であり、社会保障費が増加している。○年金は、保険料だけではまかなえず、多くの人が負担する消費税が適切である。	<ul style="list-style-type: none">●税の使い道を考える必要がある。無駄使いをしない。●不景気の今、増税をすればますます商品が売れなくなる。●消費税の増税は、低所得者や年金で暮らしている高齢者の負担が大きい。消費税ではなく、法人税など他の税を上げればよい。●まずは、防衛費など、他の予算を削り、社会保障費にあてるべき。●年金は、支給開始年齢を引き上げ、支給額を減らせば良い。

(6) 成果と課題

- 3時間目の調べ学習では、生徒が税の必要性を感じる事ができた。
- 2時間目や4時間目の討論学習では、様々な意見が出されたが、全員が自分の考え持つ事ができた。
- ▲討論学習では、事前に資料を読み取り、考えの根拠を探す活動が必要になる場合がある。その場合、資料の読み取りの段階でつまづいてしまい、討論の活動までたどり着けない生徒が出てきてしまう。「全ての生徒が参加できる討論学習」は、どのようなあり方が望ましいか、今後の授業実践を通し、追究していきたい。